

これまでの取組

地区	取組開始年度	主な取組状況
牧	平成28年度	H28.11.23 出前講座
		H30.11.23 出前講座
		R01.09.11 水害履歴調査
		R01.11.23 まちあるき（漆原町内会）
		R02.01.25 まちあるき結果報告会（漆原町内会）
		R02.02.24 水害履歴調査報告会
		R02.08.08 「大雨時の避難について」全戸配布
		R03.10.19 家屋調査（漆原町内会5軒）
		R03.11.29 「大雨時の避難について（更新版）」全戸配布
		R04.02.03 簡易量水標設置（信楽大橋）
		R04.06.11 役員WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R04.06.25 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R04.07.30 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）



平成28年11月 出前講座



令和元年9月 水害履歴調査

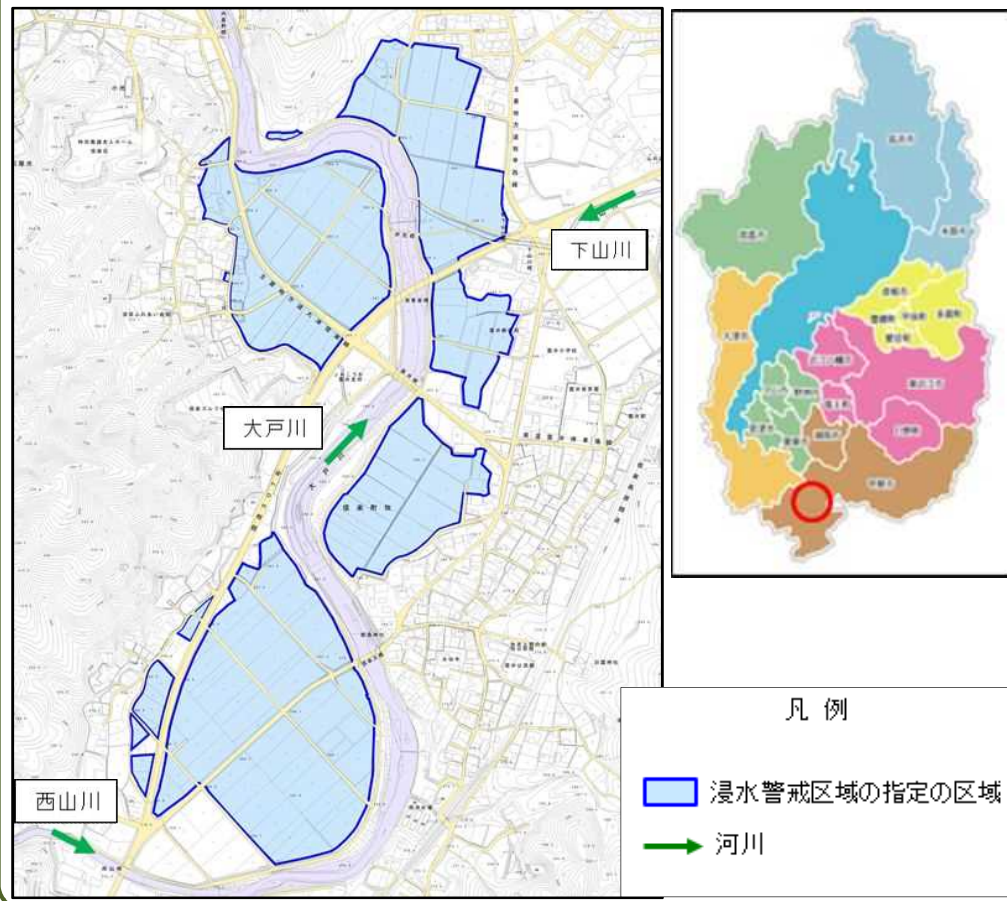


令和元年11月 まちあるき

浸水警戒区域指定に係る経緯

～令和3年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、 ■ 想定水位の設定
令和4年度	
R04.06.11	■ 浸水警戒区域の役員説明会
R04.06.25 R04.07.30	■ 浸水警戒区域の住民説明会
R04.09.18 R04.09.22	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別説明会 09.18：雲井地区農村活性化センター 09.22：信楽地域市民センター
R04.12.19	■ 第7回瀬田川地域安全協議会
R05.01.13～01.26	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R05.01.27～01.31	■ 市長への意見照会
R05.02.28	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R05.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示

今回指定を予定している区域



取組を進める中で出た主な意見や質問（⇒質問に対する県の回答）

【大戸川の河川改修や維持管理について】

● 抜本的に浸水リスクを下げるため、大戸川の改修・維持管理を優先的に実施してほしい。
 ⇒ 現在大戸川下流（大津市域）で河川改修が進められておりますが、大戸川上流（甲賀市域）においても、河川整備計画へ位置付けた上で、大戸川ダム完成までの間を含めて段階的な整備を行っていきます。また、整備実施区間以外の河川改修着手までに期間を要する上流区間についても、特に浸水警戒区域の対象地区など浸水リスクの高い地区では、定期的な巡視点検の結果や地域からの要望等を踏まえ、緊急性を勘案しながら、護岸補修や土砂の浚渫等の維持管理対策を順次進めており、今年度牧地区においても浚渫工事を実施しているところです。

【避難計画について】

● 信楽荘への避難路について、急な傾斜で路面の状態が悪く、大雨時には避難が困難であるため、舗装等できないか。
 ⇒ 当該避難路は里道であるため、県や甲賀市が直接舗装等を実施することはできません。区が実施される場合には、「居住環境改善事業補助金（甲賀市）」の制度を活用することで、一定の助成を受けることができます。
 ● 307号線や大戸川の橋が冠水してしまえば雲井小学校に避難できない。大戸川西側にも多くの避難場所があればよい。
 ⇒ 信楽荘以外にも大戸川西側に避難場所があればよいですが、現状では道路や橋が冠水する前に、早めに雲井小学校へ避難していただくことが重要となります。体が不自由で避難場所に自力で逃げられない方をどのように支援するのかなどの課題も含め、県としても今後も継続して、牧区の皆様や甲賀市と連携し、避難の場所やタイミングについて検討していきたいと考えています。

【砂防堰堤の整備について】

● 区域指定を進めるのであれば、せめて土砂災害のリスクを下げるため、砂防堰堤の整備も進めてほしい。約400世帯が暮らす牧地区は優先して実施されるべきである。
 ⇒ 砂防事業については、土砂災害警戒区域を対象に、人家（50戸以上）、公共的建物（学校、病院等）、避難所などの保全対象を含む箇所を優先して実施しております。牧地区においては、令和3年度から人家（63戸）、小学校、地域センター、鉄道等の保全対象がある堂山川支流について、事業（予備設計）に着手しているところです。



令和4年7月 住民説明会